

前橋文学館企画展「萩原恭次郎生誕120年記念展—何物も無し！進むのみ！」 を開催します

多くの近代詩人を輩出してきた前橋市の中で、大正末期から昭和初期にかけて、きわめて先鋭的な活動を展開した詩人・萩原恭次郎。初期の抒情詩を経て、ダダイズムなどの前衛芸術の波に身を投じ、1925（大正14）年には、日本のアヴァンギャルド芸術運動の記念碑的詩集『死刑宣告』を刊行。アナキズムから農民詩へと変化し、美術や音楽、舞踊、演劇などの他ジャンルとの往還的な活動も繰り広げ、39歳という若さで早逝するまで、常に時代の先端を疾走し続けました。

本展は、恭次郎の生誕120年を記念して開催します。県立土屋文明記念文学館と連携し（同時期開催）、萩原恭次郎という共通の対象を異なる視点から捉える展示やイベントを行うという初の試みです。

1 会期

令和元年11月2日（土）～来年1月26日（日）

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：水曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

2 会場 前橋文学館（千代田町三丁目12-10）2階展示室他

3 観覧料

常設展と併せて一般400円、高校生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※展覧会初日の11月2日（土）、11月9日（土）、12月7日（土）、前橋初市まつりの来年1月9日（木）、学芸員解説日の1月11日（土）は無料

4 内容

① 2階展示

- ・恭次郎の遺族から寄贈された着物を公開
- ・群馬工業高等専門学校により恭次郎の詩集『死刑宣告』の作品を立体化
その他、『死刑宣告』の世界を表現する様々な仕掛けを設置します。

② フライヤーAR スマホで撮影すると、恭次郎の顔と撮影者の顔がドッキング。

③ コラボ企画 県立土屋文明記念文学館×前橋文学館

両館の展示をご覧の方に、『月に吠えらんねえ』のオリジナルグッズを配布
中原中也記念館を加えた3館でのデジタルスタンプラリーも行います。

5 関連イベント

① 内覧会 令和元年11月1日（金）14時30分～16時

- ・セレモニー（1階ロビー） 萩原恭次郎の子孫による詩の朗読
- ・展示解説（2階展示室） 担当学芸員による解説

② 「詩集『死刑宣告』を踊る」

奥山ばらば（舞踏家）×片倉宏樹（群馬交響楽団コントラバス奏者）
アフタートーク

鈴木晶（舞踊評論家）×奥山ばらば×萩原朔美（館長）

11月16日（土）14時～ 会場：3階ホール

10月5日（土）9時より申し込み受付開始（先着100人）

③ リーディングシアターVol. 10 「孤児の処置」（村山知義作）

演出：荒井正人

音楽：荒木聡志

出演：手島実優、萩原朔美ほか

アフタートーク

やなぎみわ（美術家・演出家）×荒井正人×萩原朔美

12月14日（土）14時～ 会場：3階ホール

11月2日（土）9時より申し込み受付開始（先着100人）

※この作品の劇中に、恭次郎の詩「何物も無し！進むのみ！」が出てきます。

※②、③ともに申し込みは前橋文学館まで電話で（027-235-8011）

④ 連動企画

芽部（自主サークル）他による「恭次郎に捧げる行進詩」、「恭次郎を歌う」

【担 当】

萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち前橋文学館

電 話：027-235-8011